

仁摩小・中学校 学校支援ボランティアの地域推進
「ふれ愛の郷 仁摩づくり」

大田市立仁摩公民館

1 仁摩公民館の概要

大田市仁摩町は、島根県の中央部・日本海側に位置し、鳴り砂で有名な馬路の琴ヶ浜がある。また馬路の鞆ヶ浦は石見銀山の積み出し港として銀の通り道にもなっていた。人口約4,600人、世帯数約1,800世帯（平成17年国勢調査）で、高齢化率は、38.6%（平成22年2月1日現在）である。町内には、小学校1校（仁摩小学校）、中学校1校（仁摩中学校）、高校1校（邇摩高校）がある。

仁摩公民館は、仁摩中央公民館として昭和47年に建設され現在に至っている。平成17年10月大田市・邇摩郡の合併に伴って、公民館の仕組みが新しくなり、平成21年度より7つのブロック単位ごとに新公民館が設置された。仁摩ブロックでは、「仁摩公民館」と、4地区（仁万、宅野、大国、馬路）に「まちづくりセンター」がそれぞれ新設され、全町をあげての地域づくりの体制が整ってきた。

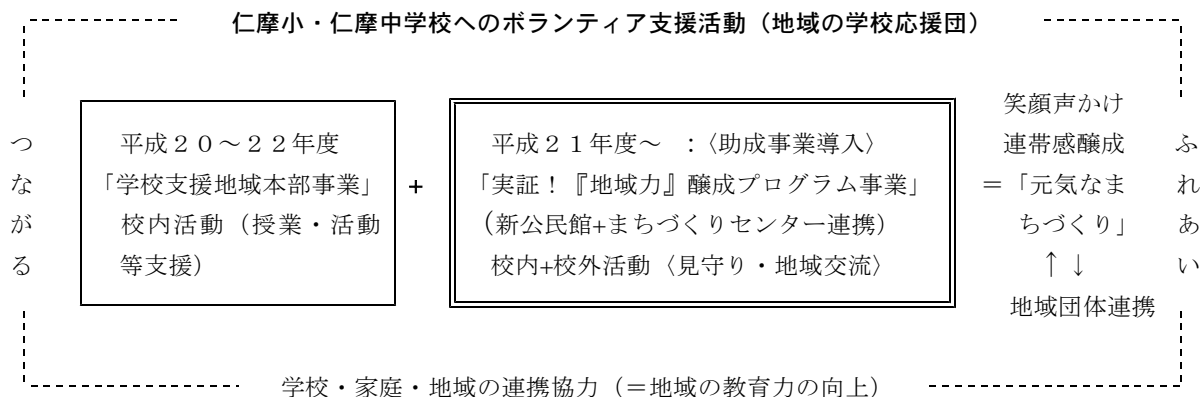
2 事業の概要

(1) はじめに

①実証事業名 仁摩小・中学校 学校支援ボランティア地域推進事業
「ふれ愛の郷 仁摩づくり」

②実証事業のテーマ
声かけて、笑顔で創る、「ふれ愛の郷・仁摩」
－仁摩小・中学校と、ボランティア団体との連携を通して－

③実証事業のねらい
本事業は、仁摩小・中学校へのボランティアによる学校支援活動を一層進展させるとともに、町民のボランティア活動に対する意識高揚と各種団体相互の地域連帯感の醸成、いわゆる「元気なまちづくり」を推進することをねらいとしている。



(2) 具体的な取り組み

①「大田市学校支援地域本部事業」(仁摩中学校区)への学校支援ボランティアの推進(二年次)

ア 5月:学校支援地域本部事業の1年目の活動や学校との連携についての反省と今年度事業計画検討

イ 5月:「地域教育協議会」を開催。2年目の組織づくりや活動予定についての協議実施

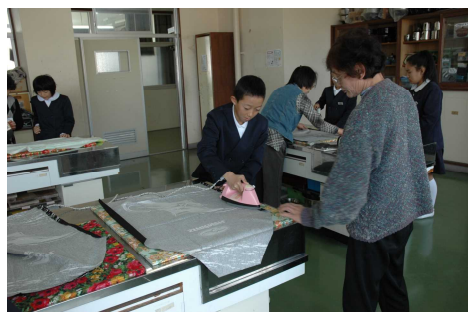
ウ 仁摩小学校への主な支援活動

○サツマイモの畑づくり、苗植え、収穫等:馬路にぼしの会(11名)

○花壇草取り:仁摩老人クラブ(14名)

○環境整備:宅野・げんき会(8名)

○家庭科授業支援活動5・6年生:宅野からしま女性会(6名)



エ 仁摩中学校への主な支援活動

○学校図書館:おはなし会ころりん(9名)

○環境整備:大国・尾土井博さん(2名)、宅野・げんき会(8名)、仁万・グラウンドゴルフの会(4名)

○家庭科授業支援活動:大国・婦人会(9名)

②「仁摩の子ども見守り隊」の立ち上げと「笑顔声かけ運動」の推進

ア 5月:実証!「地域力」醸成プログラム事業の申請

イ 6月:「仁摩の子ども見守り隊」の世話人会開催

ウ 6月:「仁摩の子ども見守り隊」の設立総会開催

エ 7月:「青パト隊講習会」開催 各地区有志(リーダー育成:11名)

オ 8月:見守り隊役員会開催(出発式関係確認:12名)

カ 9月:見守り隊出発式開催(約300人参加)

キ 9月~3月:毎週月曜日の見守り活動実施(有線放送で連絡)

○街頭見守り隊:各地区老人会・婦人の会(14団体:計113名)

○個人ボランティア隊:有志(計24名)

○青色パトロール隊:(計20名)

ク 10月:青パト隊連絡会(秋の見守り活動:協議)

ケ 笑顔声かけ強化運動の実施(街頭・個人・青パト隊)

- 秋の笑顔声かけ強化運動 9 / 7 ~ 9 / 16 (約 10 日間)
- 冬の笑顔声かけ強化運動 1 / 18 ~ 1 / 27 (約 10 日間)
- コ 中学生の下校時見守り運動の実施 (青パト隊: 20 台)
- 秋の部活見守り運動 10 / 19 ~ 11 / 17 (約 1 月間)
- 歳末見守り運動 12 / 1 ~ 12 / 21 (約 20 日間)
- サ 3 月: 「仁摩の子ども見守り隊」の意見交換会を実施して反省

③「ふれ愛: クリーン&グリーン (C & G) 活動」の実施

ア 趣旨: 「実証! 『地域力』醸成プログラム事業」の実施を受け、公民館とまちづくりセンターが相互に協力して、環境美化やエコ活動につながる異世代間交流 (ふれ愛交流) を実施した。

- イ 7 月: まちづくりセンターへ事業説明会開催
- ウ 7 月: まちづくりセンター会議で協議及び資材運搬
- エ 7 / 28 「大国: クリーン&グリーン活動実施」
- オ 7 / 31 「宅野: クリーン&グリーン活動実施」
- カ 8 / 3 「馬路: クリーン&グリーン活動実施」
- キ 8 / 5 「仁万: クリーン&グリーン活動実施」

3 事業の成果と課題

(1) 「大田市学校支援地域本部事業」の支援ボランティアの推進 (二年度)

- ①学校支援への理解もしだいに広がり、家庭科学習 (調理・ミシン活用支援) や生活・総合的な学習の時間 (野菜栽培・調理支援) への支援活動が実施できた。
- ②学校周辺の環境整備で草刈りや剪定の作業活動が実施できた。
- ③登下校時の見守り活動体制が整備中である。(仁摩の子ども見守り隊として)
- ④放課後活動支援体制の整備が課題である。
- ⑤その他 [仁摩小では、ふるさと教育としてクラブ活動 (器楽 1 名・軽スポーツ 1 名・囲碁 3 名・パソコン 1 名・手話 1 名) に地域人材を活用している。]

(2) 「仁摩の子ども見守り隊」の立ち上げと「笑顔・声かけ運動」の推進

- ①「仁摩の子ども見守り隊」の組織の立ち上げと活動を開始できた。組織では、4 地区のまちづくりセンターとの連携で、街頭見守り隊、青色パトロール隊等の見守り活動の組織ができた。見守り隊として、4 地区の老人クラブと 3 地区の婦人の会の皆さんに見守り活動へのボランティア支援をいただいたのが大変貴重な支援となった。
- ②見守りグッズ (帽子とベスト) と桃太郎旗を購入し、意識高揚を図った。
- ③中学生の下校時の見守りが、「時間が遅い」「自転車通学」「4 地区に分散」等で



難しかったが、青パト隊を20名に増員したことで、広範囲で行動的見守り運動が可能になり、組織的かつ継続的な活動を実施することができた。特に11月中旬まで実施した「秋の部活動実施中の下校時見守り運動」は、生徒や保護者にかなりの下校時の安心感を持っていただけたと感じている。

- ④見守り意識強化と連帯感醸成のため、定期的に「笑顔声かけ強化運動」を実施したが、今後ともこうした意識高揚と見守り運動の継続化が課題である。また、献身的な活動者への感謝や表敬の機会を持つ必要性を感じた。(総会等で感謝の意を表す機会を持つよう計画したい。)
- ⑤課題として、主要な団体である「PTA」の見守り活動への参画の在り方が挙げられる。以前の組織は、PTAが主体であったが、年度が移っていくと意識が薄れていき、見守り活動が消滅した点を反省し、今後の参画の方法等を検討していきたい。

(3) 「ふれ愛：クリーン&グリーン(C&G)活動」の実施

- ①地域の環境美化を意識して、道端のゴミ拾いなどのクリーン活動と花づくりなどの緑を増やすグリーン活動を、地域の小学生と地域の方との異世代間交流として実施することができた。
- ②公民館と4地区に新設されたまちづくりセンターと連携して、地域性のある企画で実施した。主な内容は次のとおりである。
 - 仁万地区の「C&G活動」：健康公園のゴミ拾い・プランターへの花植え、エコバックづくりなど(参加者：小学生22名・高校生4名・大人24名)
 - 宅野地区のC&G活動：プランターへの花植え、草取り、盆踊り教室、そうめん流し等(参加者：小学生24名・大人16名)
 - 大国地区のC&G活動：まきづくり、草取り、プランターへの花植え、水鉄砲づくりなど(参加者：小学生12名・大人31名)
 - 馬路地区のC&G活動：プランターへの花植え、清掃、ごみ拾い等(参加者：小学生10名・大人11名)



4 今後の方向性

- (1) 今後もテーマにそって仁摩地区の学校・家庭・地域の連携を進め、地域の教育力の向上に努める。そのために、引き続き「学校支援地域本部事業」の趣旨を生かしながら、仁摩小・中学校支援ボランティアの継続化や定着化、及び地域のボランティア人材発掘や活用の促進に努める。
- (2) 今後も「実証！『地域力』醸成プログラム事業」を受け、継続して地域での安心安全や環境保全活動の促進を図るため、一層の意識啓発学習やふれ合い(愛)交流活動を工夫実践することや、不十分である見守りグッズ等の補充整備をしていく予定である。